

## 新発田市 令和6年度 第2回定例記者会見

- 1 日 時 令和6年5月9日(木)午後3時～
- 2 場 所 ヨリネスしばた502会議室
- 3 内 容

### 【市長発表項目】

- 紫雲寺地域で「しうんじ路線」の運行開始
- 今・得キャンペーン宿泊プラン 2024 初夏の陣の実施
- 今・得キャンペーン飲食プラン 2024 初夏の陣の実施
- 石川佳純 47 都道府県サンクスツアーin 新潟・新発田市の開催
- 「タムガ村 600 日の記憶と希望」上映会・パネルディスカッションの開催
- ツキノワグマ対策への支援開始
- 高齢者運転免許証返納支援事業の拡充

### 【その他】

- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社が交通安全マップを寄贈
- グリーンカーテンプロジェクト 2024in しばた苗植え式の開催
- しばたの心継承プロジェクト事業 「豊浦音頭」を未来へつなぐ
- 蔵春閣 国登録有形文化財登録記念 令和6年度 市民茶会の開催
- 「食のアスパラ横丁、味めぐり」with 新発田牛の開催
- ウォーキングチームチャレンジ第 1 弾の開始
- しおかぜウォーク 2024
- シェアオフィス「キネス天王」にスタートアップ専用ブースを設置
- 「文芸しばた」第 50 号作品募集

## あいさつ

- ゴールデンウィークが終わり、田植え作業も進んだようであります。私も若いときに農業をやっていました。雑な作り方しかできませんでしたから、田んぼはでこぼこで、すっぽり水に埋まるような苗もありましたが、それでも秋になれば米ができ、自然というのは強いものだと感じたことがあります。
- 2・3日前に、柏崎市で代かきの水が足りず、ダム放流を行ったというニュースがありました。小雪の影響かもしれませんが、去年の渇水をどうしても心配せざるを得ません。
- 既に報道でも紹介されておりますが、民間の有識者グループ「人口戦略会議」による、「持続可能性」分析レポートが公表され、この度、当市が「消滅可能性自治体」から脱却でき、大変嬉しく思うのですが、まだまだ安心できるところではないわけであります。
- 少子化対策の第1弾として待機児童ゼロ作戦から始めさせていただきました。これは結婚を選択しない女性が非常に多くなっているというのが背景にあるのですが、婚姻について政治があまりにも介入しすぎるのは正しいことではありませんし、女性が一人でも十分暮らしていけるという社会は決して悪い環境ではありません。一方で、既婚者の方は、多くのお子さんがいらっしゃる傾向があるので、それならば女性が安心して子供を産み育てられる仕組みを作ったらどうかということから、最初に待機児童ゼロ、それから医療費や2歳児の保育料無料化、最終的には0歳児の保育料完全無料化となるのだろうが、受ける側の保育園がそれだけのスタッフを抱え、それだけの施設にしなければいけませんので、保育園側と一緒に考えなければならぬことです。
- 少子化対策の一番の要は、学校給食費の無料化だろうと思っています。これは完全に予算の問題です。当市では、小中学校で約3億3000万を保護者の皆さんから負担をいただき、そこに市の補助金約1億を足した約4億3000万の食材費と、共同調理場施設の維持費や調理師さんなどの人件費を合わせた年間約9億円で学校給食を提供しています。これを行政がすべて負担す

るということは、相当の市民サービスをカットしない限り、無理だということです。ですから私が今声高に県に叫んでいるのは、国が2分の1、県が4分の1、市が4分の1負担するということであれば、何とか学校給食費の無料化はできるのではないかと、ぜひそういう仕組みを作りませんかとお願いをしているところでありますが、なかなか首を縦に振っていただけません。それぐらいのことをしない限り、少子化対策は非常に難しいと思っていますところであります。

**それでは、会見項目を説明いたします。  
はじめに、「しうんじ路線」の運行開始についてです。**

- 今回運行を開始する紫雲寺地区では、利用者の減少に伴い、新潟交通観光バス株式会社が運行する「稲荷岡・藤塚浜線」、「佐々木・稲荷岡線」、「中条・築地・新発田線」の3路線が平成29年9月までに廃止され、その後、現在まで「藤塚浜・金竜橋線」が運行されておりました。
- 自治会長や地元市議会議員の皆様と約8ヵ月の協議を重ね、今月21日をもって、民間事業者が運行する路線バスから、市が運行する「しうんじ路線」の運行に切替を行います。
- 令和3年度に整備した松浦地区、豊浦地域、令和5年度に整備した五十公野～赤谷地区、加治川地域に続き、第5番目となる路線であります。
- 運行開始を記念し、5月21日（火）の午前8時に、「紫雲寺地区公民館」において出発式を開催いたします。
- この地域では、高校生の通学利用と全地域を網羅する小回り運行を両立させるため、バス車両とワゴン車両を複合的に活用する方式でスタートいたします。
- 引き続き、少子高齢化社会が進行する中、地域の皆様が安心して暮らせるよう、公共交通の充実に取り組んでまいります。

## 次に、今・得キャンペーン宿泊プラン・飲食プランの実施についてです。

### 【宿泊プラン】

- 月岡温泉や市内の旅館・ホテルでは、3月・4月に実施された北陸応援割によって、活気を取り戻しています。
- しかしながら、5月に入り、通常の宿泊価格に戻ったせいか、例年に比べて人の入りが鈍くなっているとも伺っております。この状況を受け、当市では、北陸応援割が終わった後も、多くの皆様に新発田にお越しいただけるよう、「今・得キャンペーン」を来週13日から7月12日まで実施いたします。
- 月岡温泉はじめ、市内のホテル・旅館が提供する対象プランで宿泊した場合、1人1泊あたり3,000円割引します。また、今回も「新発田牛<sup>うし</sup>」を使った夕食プランをご用意しており、既に、5月3日（金）から予約受付を開始し、続々と予約をいただいていると伺っております。
- 6月中旬からは、「あやめ園」も見頃を迎えますので、是非、この機会に新発田へお越しください。

### 【飲食プラン】

- 次に、飲食プランについてであります。先般、国は、エネルギー高騰対策である電気・ガスの助成を5月末で終了すると発表しました。しかしながら、エネルギーだけでなく、物価対策の恩恵の光は未だ我々の足元に届いていないのが実感ではないでしょうか。
- このようなことから、生活に困窮する市民の皆様や生産者の皆様、そして事業継続が困難な状況に直面している事業者の皆様を一体的に支援するため、「今・得キャンペーン飲食プラン2024初夏の陣」を6月1日から6月30日までの1か月間実施します。

- 今年2月に実施した「初春の陣」と同様に、市内飲食店において、店内飲食4,000円以上のプラン利用で1,000円割引、8,000円以上のプラン利用で2,000円割引を行うもので、今回も新発田産の食材をご使用いただくことを参加店舗の条件に、幅広く消費を喚起し、サプライチェーン全体を支援してまいります。
  
- 一足先に宿泊プランが再開されますが、これから暑い季節がやってまいりますので、飲食プランもぜひ多くの方にご利用いただき、暑気を追い払うとともに、利用者、生産者、飲食店による経済の好循環を確固たるものにしたいと思っております。

次に、石川佳純<sup>かすみ</sup>47 都道府県サクスツアーin 新潟・新発田市の開催についてです。

- このイベントは、全農所属の石川佳純さんが全国各地の方々の交流を通じて、卓球の魅力やスポーツの楽しさを伝えることを目的に、また、「全国各地からずっと応援してくださった皆さんへ感謝の気持ちを伝え、子ども達の夢を応援したい」という石川さんの思いを実現するために、令和4年4月からスタートされたものであります。
- 全国で26回目となりますが、新潟県内では初であり、5月25日（土）に新発田市カルチャーセンターで、全国農業協同組合連合会の主催により開催されます。
- 新潟県卓球連盟が選抜する約60人の小学生選手への実技指導や、世界の舞台で活躍してこられた経験などを伝えるトークショーを、石川さんに行っていただきます。
- 記者の皆様におかれましては、ぜひ、本イベントに足を運んでいただき、石川さんの実技指導の様子や、卓球教室での子ども達の練習風景などを取材いただき、石川さんの思いや子ども達の夢を後押ししていただきますようお願いいたします。

**次に、「タムガ村 600 日の記憶と希望」上映会・パネルディスカッションの開催についてです。**

- 日本から遥か離れた中央アジア「キルギス」の人口 800 人ほどのちいさな村「タムガ村」。この村とのご縁の発端は、昨年の記者会見でもお伝えしましたが、第二次世界大戦直後に遡ります。
- 当時、この村には 125 人の日本兵が抑留されておりました。他の場所では多くの日本兵が命を落とす中、タムガ村の 125 人は全員が日本帰国を果たしました。その中心人物が、本市出身の宮野泰みやのやすしさんであります。
- 宮野さんの当時の体験や、キルギスという国を市民の皆様に広く知っていただくため、この度、ドキュメンタリー映画が制作され、5月28日（火）に上映会を開催いたします。
- 当日は、パネルディスカッションの開催や、キルギスの特産品の販売などもありますので、ぜひ多くの皆さんに足を運んでいただきたいと思っております。
- なお、このご縁がきっかけとなり、キルギスからの労働力人材の受入れに向けて、市内の関係団体の皆さんと一緒にキルギス側と協議を進めているところであります。
- 企業の人手不足は本市にとって大きな課題であり、人材の受入れにあたって、前向きな団体がいくつかあるとお聞きしております。
- 私も団体の皆さんと一緒に今年の 7 月には現地を訪問し、キルギス政府と人材受入交渉を行ってまいる予定であります。記者の皆さんも一緒にキルギス共和国に取材に行きませんか？



## 次に、ツキノワグマ対策への支援開始についてです。

- 昨年度は、全国的にクマが大量出没し、当市でも 147 件の出没情報に加え、2 件の人身被害が発生しました。出没情報のうち、36 件は市街地や民家敷地内などであり、また、人身被害も民家敷地内で発生しており、クマが人の生活圏の近くに迫っている状況です。
- このような状況を踏まえ、今年度から自治会が行うクマ対策への支援を新たに開始し、クマを人の生活圏に寄せ付けつけないための環境づくりを進めます。
- 1 つ目は、クマの隠れ家対策の緩衝帯整備であり、ヤブの刈払いや雑木の伐採に対して、上限を 10 万円として、かかった費用の 2/3 を補助します。
- 2 つ目は、クマを誘引する放任果樹対策として、食べないカキや栗の木の伐採に対して、上限を 7 万円として、かかった費用の 2/3 を補助します。
- 国は 4 月 16 日に、多くの人的被害をもたらしたクマ類を「指定管理鳥獣」に追加いたしました。
- 当市としましても、クマが近寄りにくい環境づくりを地域とともに進めながら、市民の皆様の意識啓発を行い、クマ対策を強化してまいります。

## 最後に、高齢者運転免許証返納支援事業の拡充についてです。

- 当市では、高齢者の自動車運転事故の減少を目的に、65歳以上の方を対象に、運転免許証返納時にバスの回数券やタクシー券などを差し上げ、免許証返納の後押しをしております。
- しかし、65歳未満でも、さまざまな理由により、運転に不安を感じている方がおられますことから、この度、年齢制限を見直し、支援の対象を広げることで、更なる交通事故防止につなげたいというものであります。
- 年齢に関係なく、運転に不安を抱えておられる方の免許証返納へ支援を行う自治体は、県内でも少数であります。先月開始しました自転車ヘルメット購入への助成も含め、交通安全対策を強化し、悲惨な事故を一件でも減らしていけるよう、取り組んでまいります。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。